

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	エフビー介護サービス株式会社	代表者	柳澤 秀樹	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人共通介護方針として、①個別ケア、②認知症ケア、③看取りケア、④地域ケアの4つのケアを大切に、地域に密着した介護改革と社会貢献を目指す。</li> <li>・自立支援への取り組みとして、隣接する農園で利用者様と一緒に野菜や果実を収穫し、下ごしらえから調理まで利用者様と一緒にするなど、生活の中で培ってきた能力を発揮する場を設け生活リハビリを行っている。</li> <li>・高速道路無料区間出入り口近くのため、離れたエリアからも短時間で移動可能。</li> <li>・自然豊かで野鳥などが生息し、住宅地から少し離れた静かな立地。</li> </ul>
事業所名	小規模多機能 あったかほ一むいし ずえ	管理者	佐藤 綾香		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	1人	人	1人	1人	人	2人	人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティング平常化の継続と実行努力。</li> <li>・ある程度の判断が出勤者の中で相談し判断できるよう現状の判断基準を維持。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティングが出来ていないことが多く活用されていない。</li> <li>・手順書の見直しができていない為、変更点が追記されていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルス感染症の為、外部評価実施できず、記載なし。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日リーダーが責任を持ってミーティングを設ける。</li> <li>・支援経過が活用できていない為、気になったことは申し送りに書くようにする。</li> <li>・支援の内容変更後の対策実行経過確認作業をスタッフ研修時・スタッフ会議時に行う。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体機能が自立した認知症の方が増えているので、エフビー農園や外食レク等外に出る機会を増やしてゆく。</li> <li>・既存の備品や設備を温存し経費をかけず、狭い空間を最大限有効活用しサービス提供を図れるよう努力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洗濯機が老朽化の為、水漏れがあり修理出来ず購入した。</li> <li>・コロナウイルス感染症の為、外食レクや外部ボランティアの受け入れが出来なかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルス感染症の為、外部評価実施できず、記載なし。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の備品や設備を温存し経費をかけず、狭い空間を最大限有効活用しサービス提供を図れるよう努力。</li> <li>・コロナの状況を見ながら、エフビー農園や外食レク等外に出る機会を増やしていく。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区行事の情報共有と地域での活動の場に出向くことは例年通り行ってゆく。</li> <li>・気持ちの良い挨拶や何気ない会話など、日々送迎や訪問時に行きあう地域の方との関係性を大事にし、【いしずえ】の周知を地域に広める。</li> <li>・事業所で行う行事については早めに区長にお知らせしておく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルス感染症の為、夏祭りの外部参加なし。地区の行事もほとんどなかった。</li> <li>・地域の方との関係性を大事にするため、笑顔で挨拶し送迎時の車で狭い道を通る時はこちらから止まって道を譲る。譲ってもらったときは手を上げ相手に見やすい形で示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルス感染症の為、外部評価実施できず、記載なし。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの状況を見ながら、地区の行事に参加していく。</li> <li>・挨拶や何気ない会話など継続していき、地域との関係性を大事にしていく。</li> </ul>

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで通り困難事例者には行政や包括を巻き込み、事業所だけで完結することなく地域資源も活用しながら無理なく適切にサービス提供が行えるよう働きかけてゆく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源の活用も少しずつ出来ている。</li> <li>・困難事例の方には地域ケア会議を行い情報の共有を図っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルス感染症の為、外部評価実施できず、記載なし。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政や包括との連携を図り、地域資源を活用しながら適切にサービス提供が行えるよう働きかけていく。</li> </ul>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例年同様民生委員の情報を頂き、地域の中へ事業所が出向く機会を作る。</li> <li>・今後も改善に向けてのプロセスとして運営推進会議の場で良くも悪くも事業所の課題や問題を提示し意見や助言を得て方向性を見出してゆく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルス感染症の為、運営推進会議が中止になり、会議を活かした取り組みが出来なかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルス感染症の為、外部評価実施できず、記載なし。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの状況を見ながら地域の中に出向く機会を作る。</li> <li>・今後も改善に向けて運営推進会議で事業所の課題や問題を提示し意見や助言を得て方向性を見出していく。</li> </ul>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時フェイスシートの通い帳挟み込み全員分完成し活用する。</li> <li>・自然災害発生時は経過を追って予見しながら安全策を講じてゆく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者様の入れ替わりもあり、緊急時フェイスシートが完成していない。出来次第、自宅に置くようにする。</li> <li>・事業継続計画（BCP）の作成をした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルス感染症の為、外部評価実施できず、記載なし。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの状況を見ながら年2回の防災訓練を行っていく。</li> <li>・自然災害発生時の対応策を講じていく。</li> </ul>